

令和4年度 中学生チャレンジテスト(3年)の結果概要

大阪府教育委員会

・集計値／グラフは、9月6日に調査実施した生徒を対象として集計した値である。

○調査目的

- 大阪府教育委員会が、府内における生徒の学力を把握・分析することにより、大阪の生徒の課題の改善に向けた教育施策及び教育の成果と課題を検証し、その改善を図る。加えて、調査結果を活用し、大阪府公立高等学校入学者選抜における評定の公平性の担保に資する資料を作成し、市町村教育委員会及び学校に提供する。
- 市町村教育委員会や学校が、府内全体の状況との関係において、生徒の課題改善に向けた教育施策及び教育の成果と課題を検証し、その改善を図るとともに、そのような取組みを通じて、学力向上のためのPDCAサイクルを確立する。
- 学校が、生徒の学力を把握し、生徒への教育指導の改善を図る。
- 生徒一人ひとりが、自らの学習到達状況を正しく理解することにより、自らの学力に目標を持ち、また、その向上への意欲を高める。

○調査実施日

・令和4年9月6日(火)

○実施校数

・126校(467校)

○実施生徒数

・15,011人(58,964人)

○学力に関する調査

・国語、数学、英語、社会、理科(A・B・C)

○学習状況に関する調査

・生徒アンケート

○調査対象

・中学校3年

※実施校数、実施生徒数、平均点、無解答率の()内の数字は大阪府

中学校3年【国語】

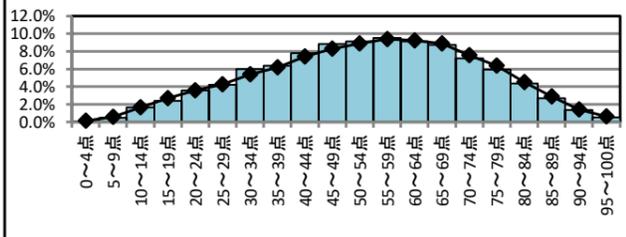
平均点

53.4(53.8)点

無解答率

11.9(12.1)

実施校127校 生徒数14,920人



良好

- 文章の内容をとらえ、筆者の考えを理解すること
- 集めた材料と文章を関係づけること

課題

- 根拠の適切さに注意したり、表現を工夫したりして話すこと
- 段落同士の関係や描写に注意して読み、内容を理解すること

【これからの学習に向けたアドバイス】

- ★話しをするときは、自分の立場や考えが明確になるように、根拠の適切さに注意して話すようにしましょう。また、目的や相手に応じて、伝える内容を検討したり、表現を工夫したりしてみましょう。
- ★文章を読むときは、文章全体と部分との関係を考えながら読み、場面の展開や登場人物の描写に注意して読みましょう。

中学校3年【数学】

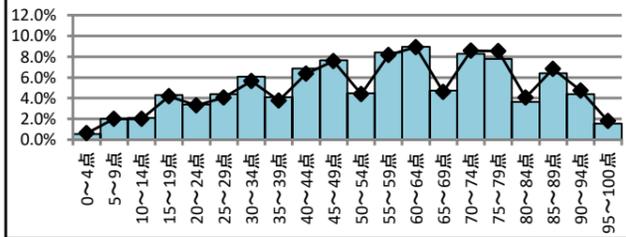
平均点

54.9(56.0)点

無解答率

9.4(9.6)

実施校127校 生徒数14,953人



良好

- 見取図、投影図から空間図形を読み取ること
- 因数分解をすること

課題

- 具体的な事象における2つの数量の関係が比例になることを理解すること
- 筋道を立てて考え、三角形の合同条件を使って証明すること

【これからの学習に向けたアドバイス】

- ★具体的な事象における2つの数量の関係について、表を用いて、2つの数量の値の変化を確認してから立式してみましょう。
- ★平行線と角の性質や、三角形や四角形の定義や性質、条件等を改めて確認し、正確に図形の証明で使えるようにしましょう。

中学校3年【英語】

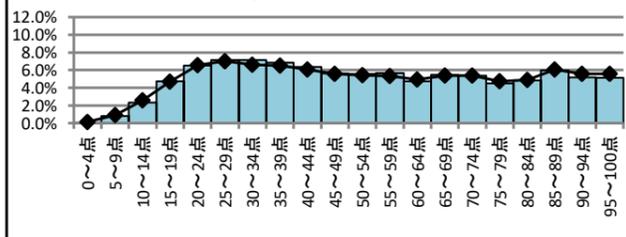
平均点

53.7(54.2)点

無解答率

6.8(7.1)

実施校127校 生徒数14,982人



良好

- 会話を聞き、話の概要や要点を捉えること
- 英語の文法事項等を理解すること

課題

- 与えられた情報に基づいて、指示された英文を正しく書くこと
- 文法や語彙の知識を活用し、場面に応じた英文を書くこと

【これからの学習に向けたアドバイス】

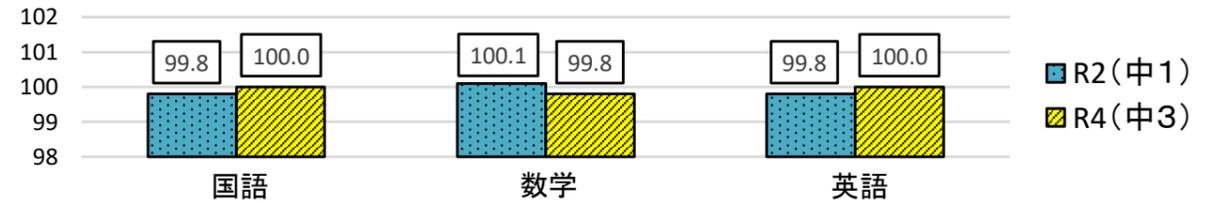
- ★使える表現を増やす目的で教科書本文の音読練習をするときは、意味を十分に理解したうえで音読するようにしましょう。
- ★教科書本文を音読練習した後、そのページの挿絵が表す内容を英語で書き、自分がどのような表現を使っているかを確認しましょう。

標準化得点を活用した 経年分析

※標準化得点は年度間の相対的な比較ができるよう、大阪府平均を100として統計的に計算したものです。 ※令和2年度と令和4年度で、個々の生徒の対応のあるデータにより分析したものです。

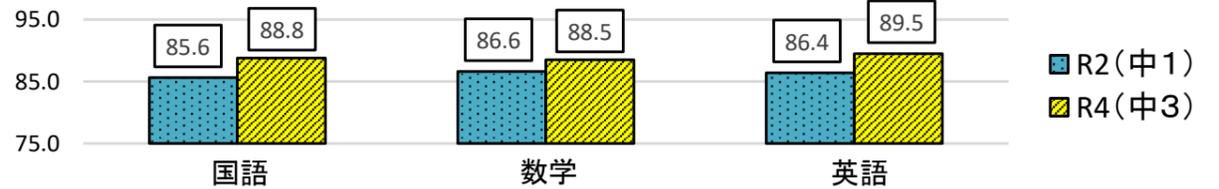
【大阪府全体の経年分析】

□「国語・英語」ともに、1%の有意水準において成績が向上していることが統計的に示されています。



【学力に課題の見られる生徒(区分Ⅳ)の経年分析】

□「国語・数学・英語」ともに、1%の有意水準において成績が向上していることが統計的に示されています。



※大阪府の生徒全員の得点分布の状況から高い順に概ね25%になるように区切り、区分Ⅰ、区分Ⅱ、区分Ⅲ、区分Ⅳの4つに分けて分析しました。なお、得点と同じ場合は上位の区分に含んでいます。

中学校3年【社会】

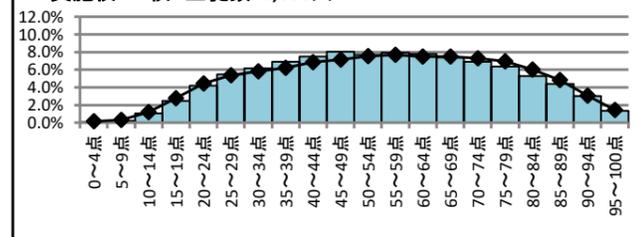
平均点

54.7(55.4)点

無解答率

4.3(4.6)

実施校127校 生徒数15,008人



良好

- 農業生産の分布について理解したり、地図における縮尺を活用したりすること
- 歴史的人物について理解すること

課題

- 地理に関する複数の資料を関連付けて読み取り、説明すること
- 歴史に関する事象や語句を時代の背景と結び付けること

【これからの学習に向けたアドバイス】

- ★地理的分野では、複数の資料を読み取り、関連づけて考察し、自分の言葉で表現するようにしましょう。
- ★歴史的分野では、できごとや語句、人物名を覚えるだけでなく、その時代の背景やその時代の人々の暮らしと事象を結び付け、なぜそのようなことが起こったのかを説明できるようにしましょう。

中学校3年【理科B】

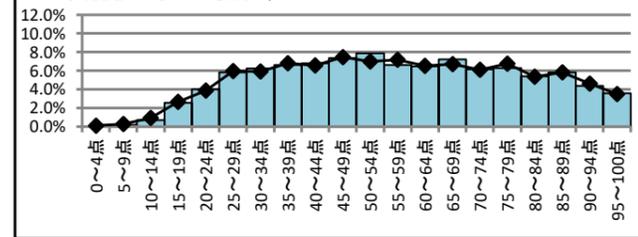
平均点

56.8(56.7)点

無解答率

5.2(6.0)

実施校24校 生徒数3,080人



良好

- だ液のはたらきやその実験方法、結果を理解すること
- 弦の振動による音の高さを高くする方法について理解すること

【これからの学習に向けたアドバイス】

- ★数値や数量に着目して実験を行うときは、「比例するかどうか」や「どのようにすれば確かめられるか」を考えるようにしましょう。
- ★観察では「何のために行うのか」を考えると同時に、詳細に記録する中で、結果から何がわかるかも考え、規則性を見つけましょう。

中学校3年【理科C】

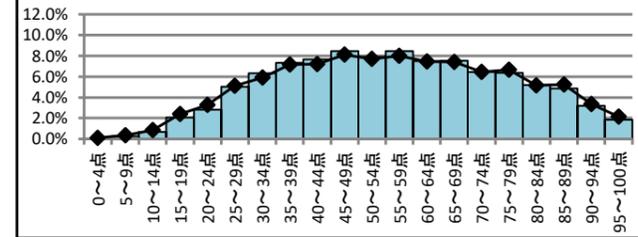
平均点

55.8(55.9)点

無解答率

5.3(5.8)

実施校102校 生徒数11,931人



課題

- 弦の振動などの物理的な現象を数値に着目して関係を見出すこと
- 観察結果から、地層の重なり方や広がり方の規則性を見出すこと

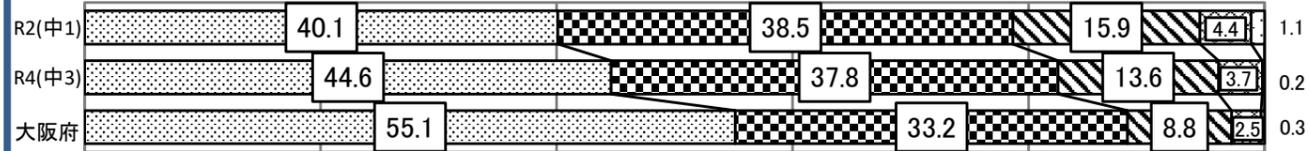
※本市においては【理科A】を選択した学校はありませんでした。

生徒アンケート結果

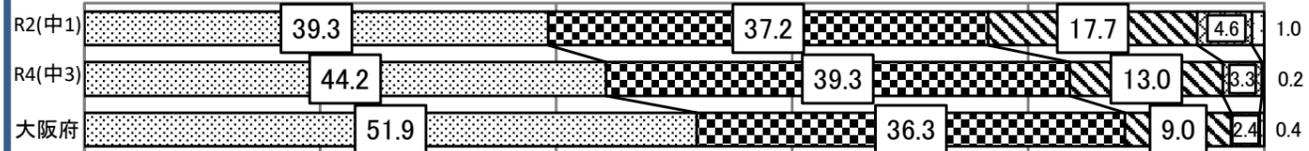
1~7 当てはまる どちらかといえば、当てはまる どちらかといえば、当てはまらない 当てはまらない その他・無回答

8 4時間以上 3時間以上、4時間より少ない 2時間以上、3時間より少ない 1時間以上、2時間より少ない 30分以上、1時間より少ない 30分より少ない 携帯電話やスマートフォンを持っていない 無回答

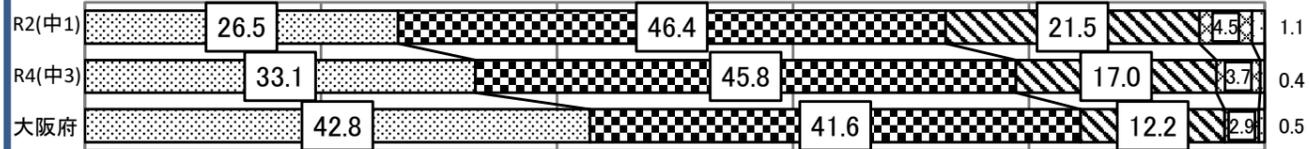
1. 授業中、ノートやプリントに自分の考えを書く場面がある。



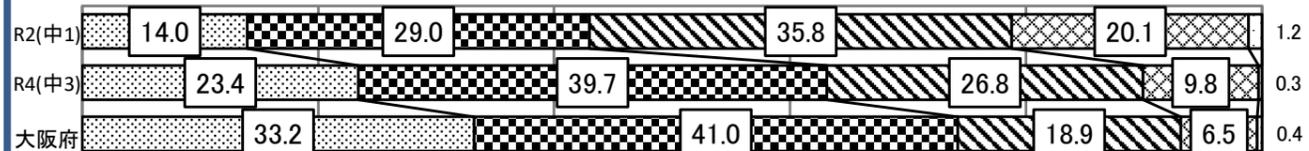
2. 授業中、自分の考えや意見を伝える場面がある。



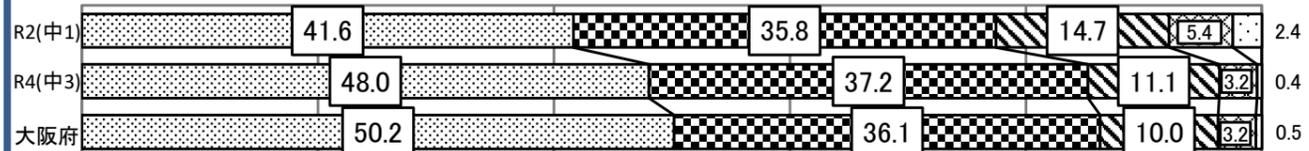
3. 授業中、話し合う活動を通じて自分の考えを深めたり、広げたりしている。



4. 授業で、図書館の資料やインターネットなどで調べる活動がある。



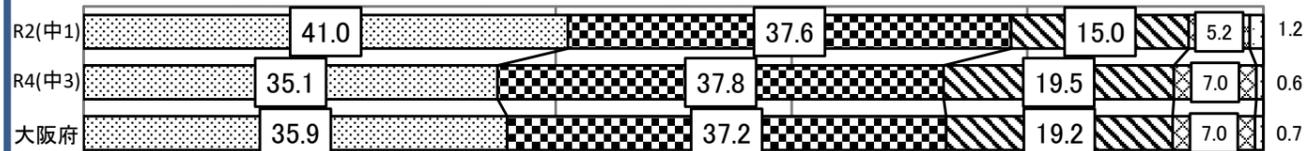
5. 授業中、間違っても笑われない。



6. 自ら課題を見つけて、家で勉強をしている。



7. テレビや新聞、インターネットなどのニュースを見る。

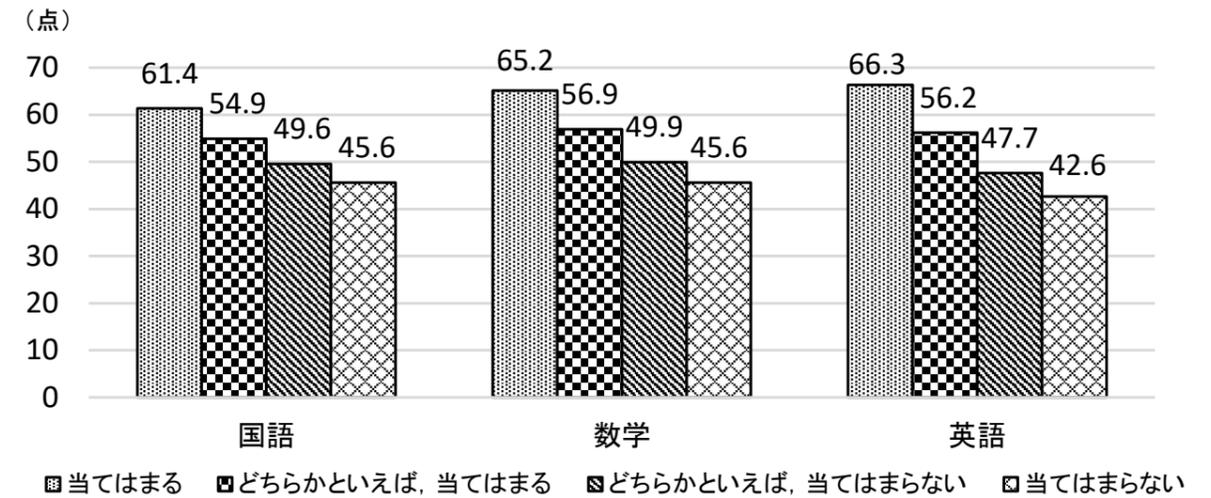


8. 普段(月曜日から金曜日)、一日当たりどれくらいの時間、携帯電話やスマートフォンを使いますか。



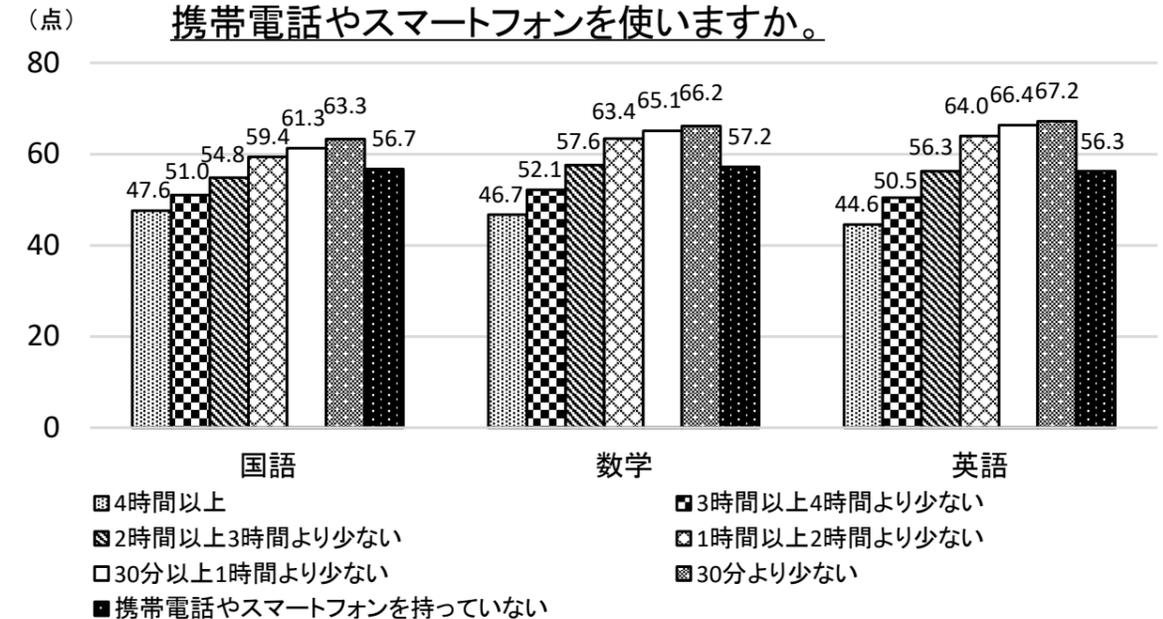
教科の平均点と質問紙調査のクロス集計結果

自ら課題を見つけて、家で勉強をしている。



自ら課題を見つけて家で勉強をしている生徒の方が、教科の平均点が高い傾向がみられます。

普段(月曜日から金曜日)、一日当たりどれくらいの時間、携帯電話やスマートフォンを使いますか。



携帯電話やスマートフォンを持っている生徒で、普段(月曜日から金曜日)の使用時間が短い生徒の方が、教科の平均点が高い傾向がみられます。

■本調査の結果とともに「ワークブック」や「かだめしプリント」などの学習に役立つ情報については、大阪府教育庁 市町村教育室 小中学校課のWebページにおいてもお知らせしていますので、ご活用ください。
○復習教材 http://www.pref.osaka.lg.jp/shochugakko/challenge/r02_3_fukushu.html

■今回お知らせする調査結果は、学力や学習状況の一部であり、子どもたちの学力や学習状況、学校の教育活動などのすべてを表すものではありません。